

英米文学論文用の書式細則

改定 2020 年度細則第 5 号 (2021 年 1 月 31 日)

『日本英語英文学』の論文書式について、基本的には諸先生方が普段用いられているスタイルが尊重できるような緩やかなものを考えておりますが、全体の統一という観点から、また経費の節減という事情もございまして、以下の諸点を共通書式として定めております。以下、「[投稿規程](#)」と重複する部分もございしますが、どうぞご了承下さい。

1. 書式、字体、枚数など

	英語論文	日本語論文
用紙・余白	<ul style="list-style-type: none"> MS Word で A4 判の用紙に作成 天地左右に 2.5 cm (1 インチ) の余白 1 ページに 25 行の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 英語論文に同じ 横書き
字体・大きさ	<ul style="list-style-type: none"> 本文、注、参照文献のいずれも、字体は Century で、12 ポイントの活字を使用 	<ul style="list-style-type: none"> 本文、注、参照文献のいずれも、和文は MS 明朝、欧文は Century で、12 ポイントの活字を使用 句読点は、「、」「。」を使用
原稿の長さ	<ul style="list-style-type: none"> 論文、書評論文は 32 ページ以内 研究ノート、書評は 16 ページ以内 図表、注、参照文献もこのページ制限内に収める 	<ul style="list-style-type: none"> 英語論文に同じ
機種依存文字	<ul style="list-style-type: none"> 丸付き数字、全角ローマ数字、単位記号などを含め、機種依存文字は使用しない どうしても使用する必要がある場合には、事前に相談する 	<ul style="list-style-type: none"> 英語論文に同じ
英数字、丸カッコ、コンマ、コロンの後には、半角 1 つ分のスペースを空ける。前にはスペースを空けない	<ul style="list-style-type: none"> 全て半角文字を使用 コンマ、コロンの後には、半角 1 つ分のスペースを空ける。前にはスペースを空けない 省略符のピリオドの後には、半角 1 つ分のスペースを空ける。文末のピリオドの後には、半角 2 つ分のスペースを空けて次の英文を始める 丸カッコの前後には、半角 1 つ分のスペースを空ける 	<ul style="list-style-type: none"> 全て半角文字を使用 引用に於ける英文は、英語論文の書式に準じる コロンを用いた場合、その後ろには半角 1 つ分のスペースを空ける 日本語の地の文に於いては、カッコの前後にはスペースを空けない。但し、文献に言及する際は、出典を示すカッコの前に半角 1 つ分のスペースを空ける。参考文献表でも同じ 欧文と和文の境目には、スペースを空けない

<p>一重カギカッコ(「 」)、二重カギカッコ(『 』)、ヤマカッコ(< >)、スミツキカッコ(【 】)、その他の特殊括弧</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には使用しない ・どうしても使用する必要がある場合には、全角文字を使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・全角文字を使用
<p>原稿の 1 ページ目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・論文の題目は、太字で中央揃え ・3 文字以下の前置詞、接続詞、冠詞を除く全ての語頭を大文字にする (例: During, on, the, When) ・題目の下は、1 行アケで本文を始める ・氏名、所属、謝辞などは記さない (これらは、表紙に記載) 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語論文に同じ
<p>空行及びインデント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各節、注、参考文献、例文の前後には、空行を挿入する ・パラグラフの冒頭は、半角スペース 5 つ分のインデント 	<ul style="list-style-type: none"> ・各節、注、参考文献、例文の前後には、空行を挿入する ・段落の冒頭は、全角スペース 1 つ分の字下げ ・引用に於ける英文は、英語論文の書式に準じる
<p>見出し番号</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Introduction は、(0 節からではなく) 1. Introduction のように、1 節から始める ・小節番号は、3.1. Strict Identity のように、数字の後にピリオドを置く ・節、小節のタイトルは、左寄せを原則とする。但し、算用数字或いはローマ数字のみで記す場合は、中央配置とし、ピリオドを置かない 	<ul style="list-style-type: none"> ・「はじめに」或いは「序論」は、(0 節からではなく)「1. はじめに」のように、1 節から始める ・小節番号は、「3.1. 代案」のように、数字の後にピリオドを置く ・節、小節のタイトルは、左寄せを原則とする。但し、算用数字或いはローマ数字のみで記す場合は、中央配置とし、ピリオドを置かない
<p>人名・作品名など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・論文内でキーとなる人物に言及する際、初出時に生歿年を付記する 例: Herman Melville (1819-1891) ・作品名、雑誌名などは、初出時に発表年を付記する 例: <i>The Magic Barrel</i> (1958) 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の人名は、初出の箇所では、和名+原名で記す。また、論文内でキーとなる人物の場合、初出時に生歿年を付記する 例: ハーマン・メルヴィル (Herman Melville, 1819-1891) ・外国の作品名などは、初出の箇所では、和名+原名で記し、発表年を付記する 例: 『魔法の樽』 (<i>The Magic Barrel</i>, 1958)

		<ul style="list-style-type: none"> ・日本の人名、作品名、雑誌名などについても英語論文に準じる
注(Notes)	<ul style="list-style-type: none"> ・最新版の <i>MLA Handbook for Writers of Research Papers</i> に従うことが望ましい ・Notes は、References の前に入れる ・脚注形式ではなく、尾注形式とする ・本文と同じ書式で記載する ・出版年などの情報は、References で明記し、Notes は必要最小限の情報に留める ・注番号は、punctuation の後に入れる ・注番号は、カッコなどを付さず、上付き <p>例：In the process of debating,¹ we are able to learn logical thinking and critical thinking.²</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最新版の <i>MLA Handbook for Writers of Research Papers</i> に準ずることが望ましい ・注は、参照文献の前に入れる ・脚注形式ではなく、尾注形式とする ・本文と同じ書式で記載する ・出版年などの情報は、参照文献で明記し、注は必要最小限の情報に留める ・注番号は、句読点の前に入れる ・注番号は、カッコなどを付さず、上付き <p>例：……と考えられる¹。しかし、Iwamoto (2015)では²、……</p>
参照文献 (References)	<ul style="list-style-type: none"> ・最新版の <i>MLA Handbook for Writers of Research Papers</i> に従うことが望ましい ・References には、本文中に引用・言及した文献のみを記載する ・アルファベット順に並べる ・雑誌は巻号、ページを明記する 	<ul style="list-style-type: none"> ・最新版の <i>MLA Handbook for Writers of Research Papers</i> に準ずることが望ましい ・参照文献には、本文中に引用・言及した文献のみを記載する ・欧文、和文が混在する場合は、別々に分けずに、混在させてアルファベット順に並べる。和文のみの場合は、五十音順で並べる ・雑誌は巻号、ページを明記する ・和文文献については、出版社の地名は省略する
米式・英式	<ul style="list-style-type: none"> ・綴りや punctuation の米式・英式は問わないが、原稿内に一貫性を保つ ・投稿に際しては、ネイティブ・スピーカーのチェックを事前に必ず受ける 	

2. 引用原文

投稿時には、引用原文と和訳（自訳、他訳は問わない）を併記して下さい。

- ・掲載時に引用原文のみで和訳をつけない場合も、投稿時には和訳を付し、引用毎に「和訳なし（原文のみ）」と朱筆して下さい。この場合、和訳は規定枚数に含まれません。
- ・掲載時に原文を省略し、和訳のみを記載する場合も、投稿時には原文を付し、引用毎に「原文なし（和訳のみ）」と朱筆して下さい。この場合、原文は規定枚数に含まれません。

- ・掲載時に原文と和訳を併記する場合は、引用毎に「併記」と朱筆して下さい。この場合、いずれも規定枚数に含まれます。

3. 参考文献の例（和文）

以下、和文文献の参考文献リストの書式を示しておきます。参考文献リストの書式は、欧文・和文を問わず MLA 方式に準ずるものです。

〈学会誌掲載論文〉

著者名「論文名」『雑誌名』巻号(出版年): 掲載ページ.

本荘忠大「アフリカ先住民表象に見るヘミングウェイのアフリカ」『ヘミングウェイ研究』9 (2008): 29-38.

〈単行本中の論文〉

著者名「論文名」『書名』編者. 出版社, 出版年. 掲載ページ.

本荘忠大「ヘミングウェイと禁酒法」『アーネスト・ヘミングウェイ: 21 世紀から読む作家の地平』日本ヘミングウェイ協会 編. 臨川書店, 2011. 160-173.

〈単行本、著書〉

著者名『書名』出版社, 出版年.

植村洋『ロックを「読む」』弦書房, 2005.

〈単行本、訳書〉

著者名『邦訳名』訳者 1 名ほか 訳. 出版社, 出版年.

レスリー・A・フィードラー『アメリカ小説における愛と死』佐伯彰一ほか 訳. 新潮社, 1989.

- ・項目が 2 行以上に及ぶ場合、2 行目以降を半角スペース 5 つ分インデントする。
- ・同一著者による複数文献の表記は、欧文は書名論題のアルファベット順、和文は書名論題の五十音順とし、著者名は「---」を用いて繰り返さない。

本荘忠大「アフリカ先住民表象に見るヘミングウェイのアフリカ」『ヘミングウェイ研究』9 (2008): 29-38.

---, 「ヘミングウェイと禁酒法」『アーネスト・ヘミングウェイ: 21 世紀から読む作家の地平』日本ヘミングウェイ協会 編. 臨川書店, 2011. 160-173.

附 則

- 1 この細則は、2021 年 4 月 1 日から施行し、『日本英語英文学』第 31 号より適用する。
- 2 従前の「投稿論文の書式、注、引用文献について補足」（英米文学論文用。2015 年 3 月 16 日制定）は廃止する。 ■